学校番号	１１２

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	古典演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「新国語問題集アシスト新国語問題集編集委員会編」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・私大入試に必要なマーク式の問題を中心に解く力を身につけます。
・授業には、話し合い、文章記述、発表などの場もありますが、自ら学ぶ姿勢をもって参加してください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習しましょう。
・課題・提出物は期限内に提出しましょう。小テストは必ず勉強してから臨みましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
古文単語や古文常識について学び、古文を読解できるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
古文常識など当時の感性や習慣など、現代との違いについて考え、話し合いができる。
【学びに向かう力、人間性等】
真面目に問題に取り組んでいる。積極的に話し合いを行い、相手の意見に耳を傾けるとともに、様々な考え方について知見を広げる意思がある。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。 ・古典の作品の種類とその特徴について理解を深める。	・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえる。 ・古典の作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考え方を広げたり深めたりする。	・古典作品や伝統文化に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	中世・説話集 ［教材］「宇治拾遺物語」「発心集」他	a:・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などににについて理解している。 b[　読　]:・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。 c:・説話文学に興味をもち、登場人物の言動などから多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解しようとしている。	ワークブック 定期考査	ワークブック 定期考査	ワークブック
二学期	紀行文 ［教材］「道いきぶり」「菅笠日記」他	a:・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[　読　]:作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:・旅の描写の中に娘を思い出す作者の心情を理解しようとしている。	ワークブック 定期考査	ワークブック 定期考査	ワークブック
三学期	中古・物語 ［教材］「源氏物語」「浜松中納言物語」他	a:・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[　読　]:文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。 c:平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	ワークブック 定期考査	ワークブック 定期考査	ワークブック

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間